



26 地区ゾンジャンの皆様、お元気ですか？ なかなかお会いできない今は尚更のこと、色々な方のお顔を浮かべては思いを馳せています。

今期、ゾンジャンの日常生活をも揺るがせた地球情勢の中、それでも世界の女性の為にボランティアを続けようとするゾンタは、いまだに全てが整ってのスタートという訳ではなく、シャロン会長はじめ国際理事、国際本部のスタッフのご苦勞が、海を越えて伝わって来ます。地区もその煽りを受けております。「国際ゾンタ 2 世紀目の出発」がこんな特殊な状況の中で始まろうとは想像だにしませんでした。

そんな中、26 地区でも 2 回目のガバナー通信を出す時期になりました。決してサボっていた訳ではないのですが、相変わらず発行日を翌日に控え、尋常でない会社の月末処理に追われながら、お尻に火が付いてガバナー通信に向かっております。ましてや「エリア通信 vol.2」が全てすでに届けられている今は焦燥感と罪悪感も伴い、そんな中で受け取るクラブからの承認事項の(回答ではなくそこに添えられる)厳しいお言葉に絶望感にも苛まれ、孤独な秋の夜長を迎えております。

Team Starfish の「女の子がヒトデを海に返している絵」に薄く水色の文字が入っています。蟹の上に “So many starfish have been left at the seashore. It’s no use helping them anymore. (こんなにたくさんヒトデが死にそうなのに、1匹を投げて一体何になるのだ。)” 少女のところに “One starfish returning to the sea will come back to life again. (でも、海に投げたヒトデは助かったでしょう?)”

国際ゾンタは 4 つのヒトデを明記してすでに歩みだしています。今度は 26 地区目標の 4 番目に掲げている 26 地区と各エリアに打ち上げられているヒトデを考えていきたいと思ひます。(後述)

いろいろ正直に書いてみようと思ひます。9 月の半ばに、ある県の雑誌に、あまりよろしくないゾンタの記事が載りました。信頼できる雑誌社でもないし、「巷の怪情報」などという変なコーナーに掲載されたものですが、「オンナの園での内紛表面化」と題してゾンタクラブが名指しで書かれていました。ゾンタに関わった人が漏らしたとしか考えられない内容です。26 地区の何人かにもそれは誰かしらから配信されていて複数の方から私の元に意見、落胆、怒りが届けられました。「26 地区として雑誌社に抗議すべき！いや、無視すべき！ニュースソース(犯人)を捜せ！記事はガバナーには報告すべきであるが他に拡散すべきでは無い！」etc.etc…。

そこで静かに考えるのです。クラブマニュアルのセクション 1-「国際ゾンタの会員」の中の一節に「地域社会において、会員はゾンタの公的な象徴である。」(p8)と明記してあります。ゾンタは素敵な森です。個人やクラブはそれを構成する木であります。或る木が隣の木を倒しに行ったり、他の森に仲間の木を売ったら、森は破

壊されます。ましてや森の上に輝く星に気づくことも無いでしょう。崇高な理念のパイオニア達によって始まった日本のゾンタを今一度心に刻みましょう!! ゾンシャンは地域社会でゾンタの森を守ってくださるよう切にお願い致します。

すべての奨学金候補者を出すことは今期の 26 地区目標の 2 番目です。3 つの奨学金の募集活動が始まり、応募期間が 1 か月しかなかった JM クローズマン奨学金に応募者が一人出ました。(9 月 30 日が締切でした。)詳細は改めてお伝えしますが松本委員長のご尽力に感謝です。いいスタートを切りました。後に、AE、YWPA、WIT が続くことを願ってやみません。

尚、前年度 YWPA 地区賞受賞の後藤早苗様への賞状が 10 月 20 日に仙台 I ゾンタクラブの例会にて授与されます。前期佐佐木委員長の元での応募であり、今期納富委員長の元での贈呈式です。何とか馳せ参じたく思っております。

26 地区のリエゾンが 27 地区ルクセンブルク ZC の国際理事 Florence fischer Herber(フローレンス・フィッシャー-ハーバー)さんに決まりました。彼女のお写真、メッセージ等は先月国際翻訳委員により和訳されクラブ配信された国際役員、理事の紹介をご覧ください。ちなみに木下国際理事のリエゾン担当は、10. 11. 20地区です。

木下国際理事就任祝賀会も、間もなくのこととなりました。来賓、ゾンシャンで 170 人近い参加申し込みをいただいております。「コロナ対策パーティーシステム」をしっかりと取り入れて開催する予定ですが、出席者は自己管理をくれぐれもよろしくお願いいたします。残念ながら出席の叶わなかった方にはまた報告させていただきます。

国際プロジェクトに協力するにも、クラブのチャリティイベント開催が厳しい状況にあります。その中、エリアディレクターが工夫を凝らし、クラブの物品販売をエリア通信を使って奨励してくれていることは感謝に堪えません。26 地区会員の中にもコロナにより大変厳しい生活を余儀なくされている方が居られるに違いありません。身近にもそんなゾンシャンが居ます。私も少なからずその対象です。ここで私が申しあげたいこと。「それでも前を向きましょう。そして無理はしなくてもいいので、ゾンシャンを続ける最大の努力をお願いしたい。」ということです。どうかよろしく頼みます。

2020-2022 26 地区ガバナー 岡澤則子

26 地区目標 No.4. ヒトデ 募集要項

「地区とエリアに打ち上げられているヒトデ探し」に応募ください。
どういう対象(=ヒトデ)に的を絞って、どういう手を差し伸べるかの提案、アイデアをお願いします。

- 応募資格: 地区目標=26 地区会員 / エリア目標=各所属エリア会員
年齢、所属クラブ、性別、ゾンタ歴関係なし。個人提出、クラブからの提出いずれも可。
- 締切: 2020 年 10 月 31 日必着
- 提出先: 地区目標= ガバナー岡澤則子 d26governor@zonta-d26.jp
エリア目標= エリア 1AD 松村昌子 d26arealdirector@zonta-d26.jp

エリア 2AD 飯島百合 d26area2director@zonta-d26.jp

エリア 3AD 西川ひろこ d26area3director@zonta-d26.jp

エリア 4AD 三輪光代 d26area4director@zonta-d26.jp

※上記へ直接提出してください。それぞれの FAX でもかまいません。

□形式: 自由(詳しく分かりやすい記載を!) 最後に提出者名(所属クラブ)、提出クラブ名の記載が欲しいが、場合によっては匿名も可。

□発表: 12月1日発行のガバナー通信、エリア通信にて。

(複数の応募があった場合、理事会で選考させていただきます。悪しからずご了承下さい。)

※ガバナー通信 vol.1 では、募集要項をクラブ配信すると記載しましたが、このガバナー通信 vol.2 をもって正式な募集とさせていただきます。

国際の窓

—国際ゾンタ及び国際ゾンタ財団理事会の様子—

この記事を書かせて頂いているのは、今月行われる3回の理事会の1回目終了。2回目と3回目の準備の真最中です。

本来ならばシカゴの本部に集結して1日8時間の会議が3~4日連続で開催される理事会は、新型コロナの影響でオンラインの会議を1回につき4時間。これを2か月毎に2~3回。シカゴ時間午後2時開始の会議は、日本の私には午前4時開始。世界中に散らばる11人のメンバーの中では一番残酷な時間帯です。

私は午前3時に起床、身支度を整え(カメラ使用するので!)、あまり得意ではないコーヒー、その他の飲み物を用意し、資料を整えていざ出陣!

開始20分前からラインはオンになるので会議開始までよもやま話。今はもっぱらコロナの話題です。理事会自体は実に効率よく進められます。パラメンタリアンのアリスがロバート法に則り、会を抑えます。事務局長のアリソンは、4人の国際会長に仕えてきているだけあって、全身ゾンタ感覚で会を進めます。(これは本当に驚愕もの。尊敬の念を込めて「凄い!」の一言)。国際会長のシャロンは、アメリカ人らしくユーモアたっぷり、茶目っ気いっぱいでありながらさすが国際会長!という進め方。

一旦会議が始まると途中で5分の休憩を一度とるのみ。あっという間に4時間近くが経っています。

国際ゾンタ全体の動き、考え方を決定する役目を負っている最高機関にいさせていただいている幸せ、そして責任。素晴らしいメンバー達と闊達に意見を交わし、未来への責任を果たすべく頑張っています。26地区のゾンシャンの熱い思いを感じながら。

今から明後日の理事会の資料を読み込みに入ります。先週の資料は65ページ。今週は29ページ。2週間前に配信されるべき資料が今回は遅れているのでちょっとつらい。ガンバリマス!

国際ゾンタおよび国際ゾンタ財団理事 木下彰子



国際から頂いた名刺です

(『国際の窓』は、2年間ガバナー通信の中でお伝えしていきます♡)

委員長便り

◇ 今年は、世界中がコロナ禍に見舞われ、世界中で女兒や女性への暴力が異常に増加しているとの報告がなされています。我が国においても例外でないといわれています。先日、創立第 75 回国連総会が始動しました。

9 月 23 日には国際本部パメラ国連委員長より、国連人権委員会からの要請に関するメールを受け取りました。26 地区の皆様には後日ご案内する予定です。

国際ゾンタは 2012 年より毎年 11 月 25 日の女性に対する暴力撤廃の日と定められた日に「Zonta Says No」キャンペーンを実施してきました。コロナ禍ではありますが、私たちは、この大きなアドボカシー活動のチャンスを止めるわけにはいきません。皆さんのクラブの 10 月例会では、いつものキャンペーンと違う方法で、私たちが地域社会へ影響を与えることができる新しい活動方法を検討し、実施いただけたら幸いです。

国連委員長 和田津美智代

◇◆「会員数をプラスに転じるポイントは、会員継続を確実にすることと新しい会員を迎えること。

この難題に挑戦していただきますよう、皆さま 宜しく願いいたします。」

副ガバナー/会員委員長 浅野万里子

◇◆◇ Z&GZクラブのコロナの影響下での活動状況、工夫、課題、これからの見通し等についてお聞きし、その結果を、9 月中旬に SOMクラブ、Z&GZクラブに配信しました。

Z&GZクラブ委員長 真鍋芳美

◇◆◆◆ 8 月 25 日、9 月 24 日と 2 回インターネットでの国際会議があり参加いたしました。

2020 年から 2020 年活動援助の画像やユニセフの方との質疑応答等資金援助の必要性を痛感しました。

財団大使 松崎恭子

◇◆◆◆◇ 各クラブ内で、国際本部に個人のメールアドレスを登録済みの会員名を 10月20日までに確認しておいて下さい。当方への報告方法は 10 月 15 日までにお知らせいたします。

リーダーシップ開発委員長 水野幸子

新・委員会メンバー紹介

| | |
|---|--|
| <p>☆リーダーシップ開発委員会 委員長 水野幸子</p> <p>委員【エリア 1 担当】 才田 いずみ (仙台 I)</p> <p>委員【エリア 2 担当】 村上 浩子 (群馬)</p> <p>委員【エリア 3 担当】 内田 宮子 (和歌山)</p> <p>委員【エリア 4 担当】 森 かおる (SEN 姫路)</p> | <p>☆アドボカシー委員会 委員長 神田 加津代</p> <p>委員【エリア 1 担当】 酒匂 桂子 (札幌 II)</p> <p>委員【エリア 2 担当】 福島 直子 (横浜)</p> <p>委員【エリア 3 担当】 吉村 侑子 (奈良万葉)</p> <p>委員【エリア 4 担当】 平野 由美子 (鳴門)</p> |
|---|--|

編集後記



9 月の連休から急に人が増えだした。京都四条通りのスクランブル交差点はまるで渋谷である。人の音、車の音、電話の音、デパートの音、サイレンの音、スピーカーの音、賑やかなことだ。



「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる。」

秋の一日、仕事もゾ〇〇も忘れて一度ゆっくり「風の音」を聞いてみたいものである。🌟 G 🌟